

発行

福井県大野市天神町1番1号

大野電報新

電話(代) 6-1111

郵便番号 912

印刷 松浦印刷所



1月の人口の動き

出生	男 38	女 33	計 71
死亡	男 21	女 22	計 43
転入	男 50	女 44	計 94
転出	男 27	女 39	計 66
世帯数	10,210 (前月+11)		
人口	42,689 (前月+56)		
	男 20,563	女 22,126	

マイカー等自動車使用自粛県民運動

あなたの足を見直そう

健康によい徒歩通勤

「みんなで自動車の使用を自粛し、石油を大切にしましょう」を合言葉に、「マイカー等自動車使用自粛県民運動」が2月10日から3月31日まで繰り広げられています。主な実践事項は、①マイカーのレジャー利用、休日の高速道路乗り入れの自粛②乗用車の通勤利用の自粛③社用車等の持ち帰り使用の自粛④鉄道・バス等の大量輸送機関利用の奨励⑤貨物輸送の合理化による自動車利用削減の推進⑥経済速度による走行の励行一などです。すでに民間企業や官公庁の中には「2キロ以内の者は徒歩通勤しましょう」とか「通勤は相乗りして燃料を節約しましょう」など、自発的に目標を決めて効果を上げている所があります。また個人的には通勤を交通機関に切り替えた人もかなりありますが、その中の1人である柿ヶ島の山村肇さん(41歳)は「何よりも安全でいいです。また国鉄駅から事務所まで30分程歩きますので、ちょうどよい運動になり食欲も出ます。これを機会に効果的なマイカーの使用方法を考えたいものです」と語っておられます。

生かそう死者ゼロの記録

この運動は石油を大切にすることはもちろんのこと、悲惨な交通事故をなくしていこうということにも大きな目的があります。

大野市では交通事故発生件数が今年の12月と今年の1月を前年に比べてみますとかなり減っています。また交通事故



健康と安全によいと歩いて通勤する市民

による死者ゼロの日は今年の6月5日から今年の2月27日まで過去10年間で一番長いうれしい記録を続けてきました。しかし2月28日ついに悲しい事故が起こり、267日でストップしました。

もう一度みんなの努力で新しい記録をつくるためにも また大切な石油を節約する上からも、「マイカー等自動車使用自粛運動」をさらに盛り上げていきましょう。

小売り価格の調査まとまる



砂糖は75円の差

市と県は月に1回市内の生活物資を調査しています。2月15日には、市内55商店を対象に「標準価格品」と「買い占め等防止法指定品」の中の灯油や砂糖など11品目について行いました。その結果、品物によっては価格にかなり差はありますが、全体に指定品目は安くなっていることがわかりました。

指定品安くなる

調査方法は県と歩調を合わせて無作為抽出で行いました。品物の中で洗剤やちり紙・トイレトペーパーは種類が多いため、限られた調査店数の中では同一規格品の集計数が少なくなり、傾向を見るだけの結果になりました。

灯油は店頭・配達価格の両方を調べました。店頭売りは標準価格の380円が30店中29店、1店だけが標準価格を下回る360円でした。配達価格は2月1日の県の行政指導により、1月に比べますと20円から70円安くなっています。

砂糖は1キロ당当たり高値260円、安値185円と店によりかなり差がありますが、1月に比べますと、どの店も10円から60円安くなっています。以下右表のとおりです。

市内の小売り価格調査結果 (2月15日)

品 目	銘柄等	規 格	店舗数	価 格			標準価格	平均以下の店舗数
				平均	最高	最低		
灯 油	配達価格	18ℓ	30店	419円	430円	380円	380円	9店
砂 糖	上白糖	1kg	11	216	260	185	—	6
大 豆 油	A社製	825g(ポリ入)	9	215	225	200	—	2
し ょ う ゆ	K社製	2ℓ 濃口	7	375	420	345	—	2
プロパンガス		10kg	19	1,273	1,300	1,200	1,300	5
洗 剤	B社製		5	580	600	550	—	2
ち り 紙		白 2,000枚	5	580	597	550	800枚 235	2
トイレトペーパー	古 紙	55m 4ロール	4	207	220	179	220	1

在庫数は大丈夫

売り惜しみはどの店もしておりませんただ1・2店で洗剤などを、1人何個と制限して販売している所があります。また

標準価格の表示は全部の店で実施されていました。在庫数は各品目とも心配ないようですが、一部洗剤はメーカーによって割り当て入荷になっているところがあります。市では、これからも市民の消費生活が安定するよう、調査を続けていきます。また市役所の市民相談室には消費生活係員がおりますので、相談したいことや苦情がありましたらおいで下さい。

一大野生活学校一

物価高を工夫と研究で

「物価高の折からどのように生活したらよいか」と工夫し活動しているグループがあります。それは大野生活学校です。

2月15日の例会では「プロパンはなべをかけてから点火すると節約できる」とか「掃除は3回に1度はほうきで」などアイデアと体験が話されました。また「野菜と魚が特に値上がりしているので、これから多くの婦人と力を合わせて研究しよう」と賢い主婦としての活動を続けています。

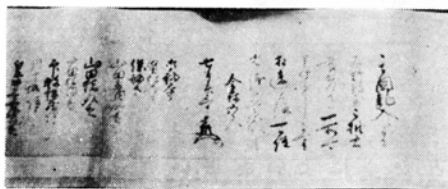


10

専 福 寺

金森長近文書

天正3年(1575)織田信長が越前一向一揆を討伐したとき、金森長近はからめ手の将として、美濃から大野郡に進攻



しました。長近はこの討伐戦にあたって、一揆軍の反勢力である高田派の寺院や、土豪に使者を送り、戦後の恩賞を約して協力を要請しました。友兼専福寺に残るこの古文書には

「其国乱入ニ付て 大野郡至被抽忠節ニおみてハ 一所可申付事不可有相違候 弥可任忠儀候 恐々謹言」とあり日付は7月23日(天正3年)です。

長近は苦しい戦を続けましたが、先の宣撫工作の成功もあって、8月中旬にほぼ戦は終わり、9月2日には功によって戌山城主に任せられ、大野郡の3分の2を領することになります。

専福寺には、天正11年に長近の出した「境内地免許」の文書も残っていて2通とも市の指定文化財になっています。

妙技を競った中日スキー大会

運営は金メダル

県勢は振るわず

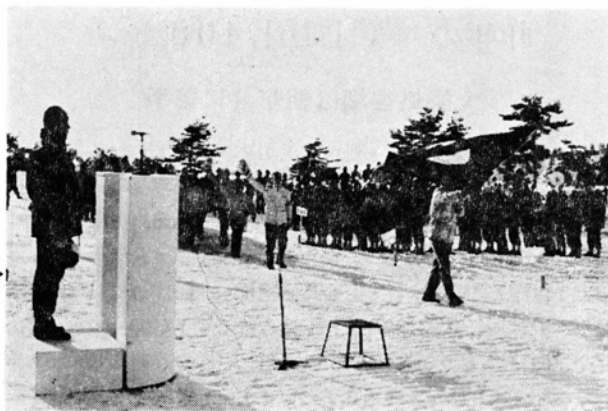
高松宮賜杯第24回中部日本スキー大会は高松宮殿下をお迎えして、2月1日から3日まで六呂師高原スキー場で、華々しく開催されました。

参加者は福井・石川・富山・岐阜・愛知県(三重県は不参加)の選手団386人と、大会関係者202人の計588人で、各選手はノルディックとアルペン競技で連日見事な技を見せ、観衆はかたずをのんで見入っていました。

総合成績は岐阜県が優勝、続いて愛知・富山・石川県の順で、福井県勢は最下位に終わりました。

福井県勢の主力を担う大野市の関係者は「大野市が中心にならなければ福井県選手の技術向上はない。これを教訓にしてまず指導者を養成すること。そして、『冬はスキーで体力づくり、を呼びかけ、スキー人口を増やし新人を積極的に発掘していきたい』と語っていました。

大会の運営については、加藤組織委員長や関係者から「まねのできない運営ぶ



開会式における選手団、役員の入場



第3位に競走技の福井県女子選手

り」「大会運営は金メダル」と絶賛された。また民宿のサービスは「家族的でとても親切だった」と各選手から喜びの声が聞かれました。

上庄公民館に料理室完成

週1回実習します

上庄公民館に料理実習室が2月15日完成しました。総工費910万円をかけて鉄筋コンクリート77.8平方メートルを増築したものです。

調理台5台、流し台3台、ダストシュート一式・戸棚などを備え、50人が一度に実習できます。

上庄地区婦人会長の出村さちえさんは「待望の料理実習室ができ、こんなうれしいことはありません。婦人は健康で明

スマイル

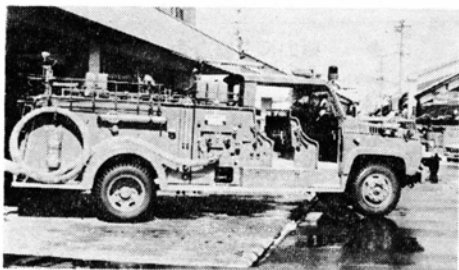
「節約ムード」

明かりを消しましょ
ボンボリの――

――桃の節約

コーナー

るい家庭の管理者ですから、地区の婦人がどなたでも『手づくりの味、を学べるよう、これから週1回講習会を計画しています。また料理グループづくりを進めることと、成人病用の料理講習会をぜひしようといろいろと話合っています」と語っていました。



油火災に備えて

化学消防車を購入

大野地区消防組合は、化学消防ポンプ自動車1台を699万円で購入しました。最近、市内で油を大量に使用する工場が増加したことや、一般家庭でもセントラルヒーティングなどが増え、油火災の危険が多くなってきたので、これに備えたものです。

この自動車には水1,300ℓ、薬剤1,500

ℓを積むことができます。またアワで消火する高発砲ノズルや、車の火災、ボヤなどにすばやく、かつ的確に消火することができる放水銃やブースターホースリール、それに発電機などを備えています。これから広域消防の花形として大いに威力を発揮することになります。(写真は新しく購入した化学消防自動車)

赤根川全面改修へ

期成同盟会が発足

赤根川改修促進期成同盟会設立総会が2月19日市役所で行われました。この会は市長、県・市議会議員、関係地保代表者など50人で構成され、会長に大野市長を選びました。赤根川は真名川以西の排

水のほとんどを集めるため、下庄地保では度々冠水の被害が起きています。さらに下庄・小山・上庄の土地改良事業が完成しますと水量が一層多くなりますので、抜本的な河川改修が早急に必要となりました。

同盟会では昭和50年の着工を目指し、強く県に働きかけていきます。

昨年のゴミ1万1,400トン

大型処理場は新年度に着手

昨年1年間のゴミ収集・処理状況がまとまりました。

処理したゴミは焼却6,457トン、埋め立て4,976トン、計1万1,433トンで、前年より全体で3割増えています。これを1日平均にしますと、収集量は29トン、持ち込みは8トンで計37トンとなり、処理は22トン焼却、危険物など残り15トンを埋め立てています

年間総経費は3.312万円で、1世帯当たり5,406円となり、前年とは2割高くなりました。

現在の処理場には炉が4基ありますが処理能力は1日20トンで、増え続ける量をとて消化できません。そこで大野市・勝山市・和泉村が広域行政の一環として、1日90トンの処理能力をもつ廃棄物処理場を、昭和49・50年度の2カ年で建設する計画をしています。

近所の方や知人、親せきの人などがされる場合は、市から1日1,460円の看護料を支払いますので、近くの民生委員または市厚生課へ申し出て手続きをして下さい。また市は寝たきり老人に、闘病生活に適した特殊寝台を貸し出しています。希望される方は市厚生課へおいで下さい。

◆……取り灰の始末に気をつけて

コタツやレンタン火ばちの取り灰による火災が起きています。また取り灰をすぐにごみ袋に入れるため、ごみ収集車の荷台から火が出る事故も数回ありました。灰は不燃性の容器に入れ、完全に熱がなくなるのを確かめて始末して下さい。

◆……くみ取り口の除雪を

便所のくみ取りは積雪のため困難しています。昨年12月をお願いしておきましたが、まだ各家庭の取り口が雪でふさがっていて作業ができないことが多いので発注される時は、必ずくみ取り口までの通路を除雪しておいて下さい。

◆……家庭学級生の集いは3月16日

家庭教育学級生の集いが3月16日(土)午後1時から市役所で開かれます。

内容は「望ましい親とは」と題して県中央児童相談所池上栄一郎氏の講演がある外、話し合い・レクリエーションなどがあります。多数参加して下さい。

◆……献血にご協力を

献血車が次の日程で巡回します。ご協力下さい。

＜と き＞3月19日(火)10時から15時
＜ところ＞市役所前



◆……調理師を募集します

市は調理師を次のとおり募集しています。希望者は応募して下さい。

＜資格＞昭和21年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれ、調理師免許がある者。

＜採用人員＞4人

＜試験＞口述試験

＜申し込み期日＞3月20日(水)まで

＜申し込み先＞大野市役所庶務課

◆……5年年金加入は3月30日までに

明治39年4月2日から同44年4月1日までに生まれた人(各種公的年金、恩給を受けている人は除く)の国民年金の加入申し込み期限は3月30日までです。

市内の該当者は約400人ですが、現在加入しておられるのは、170人にすぎません。早く市民課で手続きをして下さい。

保険料は昭和45年6月から50年5月まで月額900円の計算で納めますと、

昭和50年7月から満65歳以上の方は年額9万6,000円の年金が受けられます。保険料の納付で迷っておられたり、困っておられる方は市の係員に相談して、最後のチャンス

を逃さないようにして下さい。



◆……沿線木の伐採には連絡を

各地で伐採木による列車の事故が起きています。国鉄沿線で立木を伐採される時に、木が線路上に倒れるおそれがある場合や、車両幅内にかかると思われる場合は、近くの駅が保線区に連絡して係員の指示を受けて下さい。また線路を横断して伐採木を運搬される時は、必ず福井保線区に届けをし、承認を受けて下さい。

◆……寝たきり老人の看護料を支給

1人暮らしの寝たきり老人の世話を、

を奏でている。
(M生)

長い雪との戦いも終わりを告げようとしている。石油パニックのあおりもあって、今年の冬は格別心細かった。それでも自然の摂理によって冬將軍は音もなく敗退する。春立つとはいえ、まだ厳しい余寒の昨今である。しかし春の足音は一步一步近づいてくる。それは雪解けのしずくに、柔らかな雨の音に、あるいは風の声に、はつきりと聞かれる。春寒と言葉交せば人親し(立子)○春めくや真夜ふりいでし雨ながら(鳥頭子)▼窓辺に置いたヒヤシンスの芽はにわかになつて可憐な花をつけた。「ヒヤシンス薄紫に咲きにけりはじめて心願ひそめし日」と若き北原白秋が詠んだロマンの迎春花でもある。サクラ草やシクラメンも同様である。

長い雪との戦いも終わりを告げようとしている。石油パニックのあおりもあって、今年の冬は格別心細かった。それでも自然の摂理によって冬將軍は音もなく敗退する。春立つとはいえ、まだ厳しい余寒の昨今である。しかし春の足音は一步一步近づいてくる。それは雪解けのしずくに、柔らかな雨の音に、あるいは風の声に、はつきりと聞かれる。春寒と言葉交せば人親し(立子)○春めくや真夜ふりいでし雨ながら(鳥頭子)▼窓辺に置いたヒヤシンスの芽はにわかになつて可憐な花をつけた。「ヒヤシンス薄紫に咲きにけりはじめて心願ひそめし日」と若き北原白秋が詠んだロマンの迎春花でもある。サクラ草やシクラメンも同様である。

